当院で冠動脈疾患の治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みにになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2000年1月～2025年12月の間に、冠動脈疾患にて入院し、以下の診断あるいは病状を有する患者様

- ・心血管疾患発症リスクの高い患者様（家族性高コレステロール血症、心原性ショックの合併、再血行再建術を要するステント留置された患者様、血行再建の実施が困難な患者様、維持透析を要する慢性腎臓病を有する患者様、石灰化結節が原因となり冠動脈疾患を発症された患者様、出血リスクの高い患者様、80歳以上の高齢者の患者様、左主幹部の狭窄を有する患者様）
- ・冠動脈塞栓症/冠動脈拡張症/特発性冠動脈解離/鎖骨下動脈盗血症候群により冠動脈疾患を発症された患者様
- ・冠動脈バイパス術の既往を有する患者様
- ・冠動脈以外に病気を有する患者様（脳梗塞、末梢血管疾患、膠原病、炎症性疾患、慢性閉塞性肺疾患、先天性心疾患、肺高血圧症、大動脈解離、大動脈瘤、心筋症）

【研究課題名】難治性の重症冠動脈疾患の予後ならびに薬物・血行再建療法の有効性解明研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心臓血管内科 冠疾患科 医長 片岡 有

【研究の意義・目的】

本研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、治療が困難な冠動脈疾患の患者様の特徴を明らかにすることを目的としています。本研究の成果は、将来的に治療が困難な冠動脈疾患の患者様に対する有効な治療法の確立に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、心電図、内服薬、CT 画像、MRI 画像、冠動脈内イメージング画像、RI 画像、冠循環生理学的指標、血液検査データ（肝機能検査、腎機能検査、血糖検査、脂質検査、貧血検査、心不全指標）、施行された血行再建術の手技内容、心血管イベント（死亡、心筋梗塞、不安定狭心症、血行再建術施行、脳卒中、末梢動脈疾患、鎖骨下動脈狭窄症、動脈瘤、弁膜症、心不全、出血）の発生有無、発生日

【研究の実施体制】

この研究は、他の施設と共同で実施されます。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 冠疾患科 医長 片岡 有

共同研究機関 研究責任者

1. 近森病院循環器内科 科長 細田 勇人
2. 沖縄県立中部病院 循環器内科 医長 屋宜 宣仁

また、本研究で収集した情報を、上記の研究機関で共有し、共同で研究を進めます。提供する際は、あなたを特定できる情報は記載せず、個人が特定できないように配慮いたします。

提供方法：郵送・宅配

本研究で収集した情報を、機密性や安全性の措置が講じられたパソコンに入力します。提供する際は、あなたを特定できる情報は記載せず、個人が特定できないように配慮いたします。詳細を知りたい方は、下記の連絡先にご連絡をいただければ幸いです。

【研究期間】 研究許可日より2037年12月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究機関の長の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト（<http://www.ncvc.go.jp>）の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 冠疾患科 医長 片岡 有
06-6170-1070 内線 60189 yu.kataoka@ncvc.go.jp